

# ◆長大の「自動運転」に対する取組み その1

当社は“スムーズな自動運転の導入・社会構築”に向けた各種調査研究・検討等を実施しています。これはインフラ（社会基盤）整備と、地域づくり・まちづくりに取り組んできた“長大の強み”を活かすアプローチと考えます。

- 自動運転の導入・展開に関する検討、導入時の技術面および制度・運用面での課題抽出等に取り組んでいます。

※右図は長大が想定する自動運転の展開の考え方

- 自動車による事象検知機能（センシング）の技術的限界を考慮し、道路インフラ側での道路交通状況の把握（事象検知）や路車間等の通信技術に関する路車が強調する手法に関する調査・研究を行っています。



# ◆長大の「自動運転」に対する取組み その2

自動運転車は、実際の道路を走行していると同時に、高精度の地図上の仮想空間を走行しているという側面があります。長大の技術を活かし、現実の道路と地図が高度なレベルで合致し、常に最新の状態に維持されてるよう取組んでいます。

- 自動運転に不可欠な“高精度地図”の整備

自動運転の実現に必要な“高精度な道路地図”をより効率的に作成するため、道路建設段階で作成された各種図面をデータベースに格納し、個々の図面を結合することで、道路地図を作成する仕組みづくりに取組んでいます。

- 最新の技術動向を踏まえた、各種道路関連データの自動計測等の技術調査

現在、レーザ測量により道路の現状を計測する技術が各メーカーで開発されています。

前述の高精度な道路地図を作成する仕組みとあわせ、このような計測技術を活用して、より簡単にリアルタイムに現実の世界に近い地図へと更新する技術の活用についての調査にも取組んでいます。

